

日本電設事業継続計画（NDK BCP）に基づく防災訓練を実施

日本電設工業は8月31日、全役員・社員と関係会社社員など約3,000名が参加して「日本電設事業継続計画（NDK BCP）」に基づいた防災訓練を実施しました。訓練では神奈川県川崎市を震源としたマグニチュード7クラスの直下型地震の発生を想定した避難訓練、安否確認訓練を行ったほか、本店および鉄道・営業・情報通信の各統括本部に東京都南部と神奈川県東部に拠点を置く6箇所の支社・支店を加えた体制で事業継続訓練を行いました。

安否確認訓練では、グループ会社が運営している「NDK安否確認システム」を活用して社員および家族の安否確認、社員の出社の可否確認を行い、事業継続訓練では、本店と3つの統括本部に災害対策本部を設置するとともに、支社・支店に現地復旧対策本部を設置し、社内の被災状況の確認、災害時の協定締結先をはじめとした顧客との連絡体制の確認、復旧支援体制の確認を行い、各対策本部で初動の対応と情報共有を行う訓練を実施しました。

今回の訓練から新たにインターネット上に構築した自社専用の「災害用掲示板」の運用を開始し、社屋や施工現場の被災状況を撮影した画像ファイルや顧客との連絡状況をまとめた資料等の様々な災害情報のデータの整理と共有化がより円滑に行えるようになりました。今後も、訓練を通じて事業継続計画の課題を抽出し、改善を重ねていくことでより一層の「NDK BCP」の充実を図ってまいります。

（訓練の様子）

